



第2回大野城市総合教育会議

「夢とみらいのこどもプランⅣ」 について

大野城市こども未来部こども・若者政策課



第2回大野城市総合教育会議

「夢とみらいのこどもプランⅣ」について

-
1. 計画の概要(第1章)
 2. 成果と課題(第2章)
 3. 施策の展開(第3章)
 4. 「夢とみらいのこどもプランⅣ」における課題

第1章 計画の概要

I 計画策定の趣旨（本編P2）

令和5年4月 こども家庭庁設立
こども基本法施行
12月 こども大綱閣議決定

◇全てのこども・若者が将来にわたって幸せな状態で生活を送ることができる
「こどもまんなか社会」の実現を目指す

◇こども基本法「市町村は、こども大綱及び都道府県のこども計画を勘案して、
市町村こども計画を定めるよう努める」

第1章 計画の概要

II 計画の基本理念（本編P3）

「全てのこども・若者が、夢と希望を持ち、幸福な生活を
おくることができるまちをめざして」

基本方針

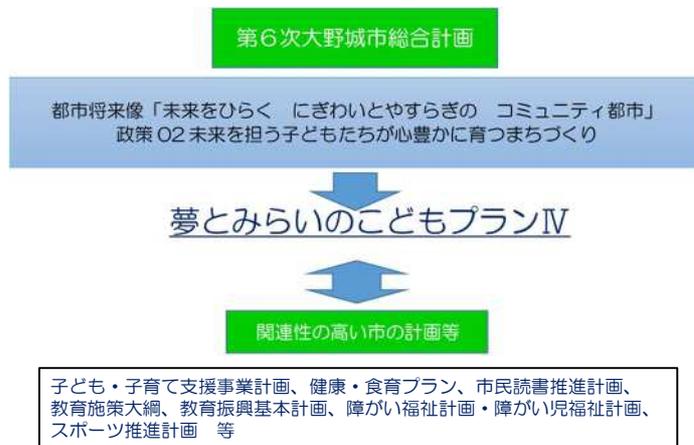
方針1 こどもの権利の保障

方針2 こども・若者と子育て当事者への切れ目ない支援

方針3 学校・家庭・地域・行政の連携

第1章 計画の概要

Ⅲ 計画の位置付け（本編P4）



第1章 計画の概要

Ⅳ 計画の期間（本編P5）

令和6年度から令和11年度までの6年間

- ◇プランⅣの計画期間は、令和11年度を最終年度とし、次期計画において「子ども・子育て支援事業計画」と一体化を行い、より分かりやすい計画とします。
- ◇子ども・若者を取り巻く社会環境の変化やプランⅣの進捗状況に応じて、「大野城市子ども・若者育成会議」委員からの助言などを受け、計画の見直しを行います。

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12~16
夢とみらいのこどもプラン	Ⅲ					Ⅳ						Ⅴ
子ども・子育て支援事業計画	第1期	第2期				第3期						※一体として策定(予定)

第1章 計画の概要

V 計画の対象（本編P5）

子どもや若者に関わる全ての市民

（主な対象者：妊娠期から青年期までの子どもや若者及びその保護者）

各ライフステージの期間の定義

妊 娠 期 ： 妊娠し、出産するまでの間

乳幼児期 ： 0歳～就学前の間

学 童 期 ： 小学生の間

思 春 期 ： 中学生の間

青 年 期 ： おおむね15歳から30歳未満まで（就労まで）の間



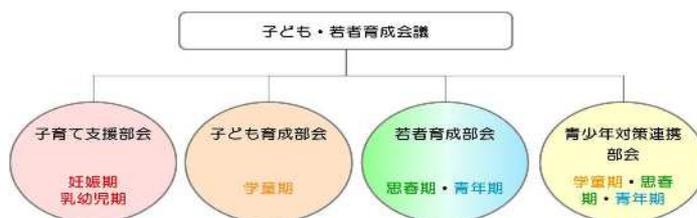
第1章 計画の概要

VI 計画の推進体制（本編P7）

◇ライフステージを妊娠期・乳幼児期、学童期、思春期、青年期の4つに大別

◇「大野城市子ども・若者育成会議」、ライフステージに即した4つの部会を開催
学校・家庭・地域・行政による計画の進捗管理

◇基本施策ごとに設定する「成果指標」と、各重点事項における「活動指標」の数値により評価



第2章 成果と課題 (本編P7～)

◇令和元年度から現在に至るまでの成果と課題を検証

◇平成30年度、令和4年度、令和5年度のアンケート調査(※)の結果



今後の施策の展開に反映

※アンケート調査

平成30年度調査…「子ども・若者に関するアンケート調査結果」

令和4年度調査…「子ども・若者に関するWEBアンケート調査結果」

令和5年度調査…「令和5年度子ども・若者育成フォーラム 事前アンケート報告書」

「令和5年度子ども・若者育成フォーラム 事前アンケート(保護者用)報告書」

第3章 施策の展開 (本編P22～)

◇「夢とみらいの子どもプランⅢ」の成果と課題を踏まえて、今後の施策を展開

◇各ライフステージにテーマ、基本施策、重点事項、成果指標を設定・明示

◇ライフステージをとおして取り組むべき基本施策を新たに位置付け施策を展開



「夢とみらいのこどもプランⅣ」における課題

人との関わりの希薄化と、子育て当事者の孤立や児童虐待等の増加

《参考》子ども相談センターでの虐待対応件数 H30: 5,763件
R4 :21,976件

⇒課題1 産前・産後・子育て時の相談・支援体制の充実

<施策>

【妊娠・乳幼児期】①安心して妊娠・出産できる環境づくりの推進

【妊娠・乳幼児期】③こどもたちが健やかに成長できる環境づくりの推進

【学童期】③親と子が安心できる環境づくり

「夢とみらいのこどもプランⅣ」における課題

家庭での教育機会の減少と、人との関わりの希薄化

《参考》核家族世帯数(国勢調査での福岡県の割合) H27:1,197,150世帯
R2 :1,213,986世帯

⇒課題2 市全体で取り組む子育て支援の確立

<施策>

【妊娠・乳幼児期】③こどもたちが健やかに成長できる環境づくりの推進

【学童期】①学校・家庭・地域・行政が連携する子育ての推進

【思春期】①学校・家庭・地域・行政における青少年の育成

「夢とみらいのこどもプランⅣ」における課題

不登校生徒等の増加

《参考》小中学校での不登校生徒等の数 H30:229人（小学校：75人、中学校:154人）
R4 :447人（小学校:146人、中学校:301人）

⇒課題3 青少年が抱える悩みや不安の解消

<施策>

【学童期】③親と子が安心できる環境づくり

【思春期】②青少年の自尊感情を育むための支援